

令和8年度 税理士試験
法人税法 ラストスパート模試

第1予想
(答案用紙)

〈答案用紙〉

〔答案用紙ご利用時の注意〕

1. 実際の税理士試験では、この表紙はありません。答案用紙のみが配布されます。
2. 実際の税理士試験の答案用紙はA4サイズです。
3. 弊社ホームページでは、答案用紙のダウンロードサービスを行っています。
ネットスクールホームページ (<https://www.net-school.co.jp/>) にアクセスしてください。
4. 答案の採点は、模範解答をもとに各自で行ってください。

(2)

受 験 地				
受 験 番 号				

評 点

問1

(1) 甲社における資本組み入れに係る会計上の仕訳を示しなさい。

【会計上の仕訳】

(単位：円)

借 方		貸 方	
項 目	金 額	項 目	金 額

(2) 甲社における当期の「別表四 所得の金額の計算に関する明細書」、「別表五(一) I 利益積立金額の計算に関する明細書」及び「別表五(一) II 資本金等の額の計算に関する明細書」を示しなさい。

【別表四 所得の金額の計算に関する明細書】

(単位：円)

区 分		総 額	留 保	社外流出
加 算				
減 算				

【別表五(一) I 利益積立金額の計算に関する明細書】

(単位：円)

I 利益積立金額の計算に関する明細書				
区 分	期首現在 利益積立金額	当 期 の 増 減		差引翌期首現在 利益積立金額
		減	増	
利 益 準 備 金	20,000,000			

【別表五(一) II 資本金等の額の計算に関する明細書】

(単位：円)

区 分	期首現在 資本金等の額	当 期 の 増 減		差引翌期首現在 資本金等の額
		減	増	
資本金又は出資金				
資 本 準 備 金	20,000,000			
差 引 合 計 額				

受 験 地				
受 験 番 号				

評 点

問2

(1) 乙社

【税務上の仕訳】

(単位：円)

借 方		貸 方	
項 目	金 額	項 目	金 額

【別表四 所得の金額の計算に関する明細書】

(単位：円)

区 分		総 額	留 保	社外流出
加 算				
減 算				

【別表五(一) I 利益積立金額の計算に関する明細書】

(単位：円)

I 利益積立金額の計算に関する明細書				
区 分	期 首 現 在 利益積立金額	当 期 の 増 減		差 引 翌 期 首 現 在 利益積立金額
		減	増	

【別表五(一) II 資本金等の額の計算に関する明細書】

(単位：円)

区 分	期 首 現 在 資本金等の額	当 期 の 増 減		差 引 翌 期 首 現 在 資本金等の額
		減	増	
資 本 剰 余 金	×××			

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(2) 甲社

【税務上の仕訳】

(単位：円)

借 方		貸 方	
項 目	金 額	項 目	金 額

【別表四 所得の金額の計算に関する明細書】

(単位：円)

区 分		総 額	留 保	社外流出
加 算				
減 算				

【別表五(一) I 利益積立金額の計算に関する明細書】

(単位：円)

I 利益積立金額の計算に関する明細書				
区 分	期首現在 利益積立金額	当 期 の 増 減		差引翌期首現在 利益積立金額
		減	増	

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

問 3

- (1) 当社の当期における税務上調整すべき金額（加算・減算の別及び留保・社外流出の別）及びその計算過程を記載しなさい。

税務上調整すべき金額 （加算・減算の別及び 留保・社外流出の別）	計 算 過 程（単位：円）

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(2) 当期の「別表五(二) 租税公課の納付状況等に関する明細書(一部)」を示しなさい。(単位:円)

税目及び事業年度			期首現在 未納税額	当期発生税額	当期中の納付税額		
					充当金取崩しに よる納付	仮払経理に よる納付	損金経理に よる納付
					①	②	③
法人税及び 地方法人税	7.4.1~8.3.31		2	/			
	当期分	中間	3				
		確定	4				
	計		5				
道府県民税	7.4.1~8.3.31		7	/			
	当期分	中間	8				
		確定	9				
	計		10				
市町村民税	7.4.1~8.3.31		12	/			
	当期分	中間	13				
		確定	14				
	計		15				
事業税	7.4.1~8.3.31		17	/			
	当期中間分		18				
	計		19				
その他	損金算入のもの						
	損金不算入のもの						

省略

受験地					
受験番号					

評 点

納税充当金の計算								
期首納税充当金		30		取 崩 額	損金算入のもの	36		
繰 入 額	損金経理をした納税充当金	31			そ の 他	損金不算入のもの	37	
		32					38	
	計 (31)+(32)	33				仮払税金消却	39	
取 崩 額	法人税額等 (5の③)+(10の③)+(15の③)	34			計 (34)+(35)+(36)+(37)+(38)+(39)	40		
	事業税 (19の③)	35		期末納税充当金 (30)+(33)-(40)	41			

受験地					
受験番号					

評 点

問 4

- (1) 法人税法第50条に規定する交換の圧縮記帳による圧縮限度額及び取得建物に係る償却限度額について、計算過程を示しつつ、算定しなさい。

【土地の圧縮限度額】

	円
--	---

【建物の圧縮限度額】

	円
--	---

【建物の償却限度額】

	円
--	---

【圧縮限度額及び償却限度額の計算過程】

(単位：円)

--	--

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(2) 本問交換について、帳簿価額を引き継ぐ方法（交換譲渡資産の帳簿価額を取得価額に計上する方法）の会計上の交換の仕訳を示しなさい。

なお、その仕訳によった場合の圧縮限度額を超える部分の金額を、計算過程を示しつつ、算定しなさい。

【帳簿価額を引き継ぐ場合の交換の会計上の仕訳】

(単位：円)

借 方		貸 方	
項 目	金 額	項 目	金 額

【土地について圧縮限度額を超える部分の金額】

円

【建物について圧縮限度額を超える部分の金額】

円

【圧縮限度額を超える部分の計算過程】

(単位：円)

--

受 験 地	
受 験 番 号	

評 点

問 5

(1) 売掛金 (A社) と貸付金 (B社) について、期末時換算法を選定した場合の為替差損益は、いくらになるか。

【計算過程】	(単位：円)
為替差損 又は 為替差益 いずれかを○で囲むこと。	円

(2) 売掛金 (A社) と貸付金 (B社) について、換算方法を選定しなかった場合の為替差損益は、いくらになるか。

【計算過程】	(単位：円)
為替差損 又は 為替差益 いずれかを○で囲むこと。	円

受験地					
受験番号					

評 点

問 6

- (1) 「資料 6」に基づき、当社の当期における税務上調整すべき金額（加算・減算の別及び留保・社外流出の別）及びその計算過程を記載しなさい。

税務上調整すべき金額 (加算・減算の別及び 留保・社外流出の別)	計 算 過 程 (単位：円)

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(2) 当期の「別表十四(二) 寄附金の損金算入に関する明細書」を示しなさい。

(単位：円)

公益法人等以外の法人の場合			
一般寄附金の損金算入限度額の計算	支出した寄附金の額	指定寄附金等の金額	1
		特定公益増進法人等に対する寄附金額	2
		その他の寄附金額	3
		計 (1)+(2)+(3)	4
		完全支配関係がある法人に対する寄附金額	5
		計 (4)+(5)	6
	所得金額仮計	7	
	寄附金支出前所得金額 (6)+(7)	8	
	同上の 2.5/100 相当額	9	
	期末の資本金及び資本準備金の額の合計額	10	
	同上の月数換算額 (10)× /12	11	
	同上の 2.5/1,000 相当額	12	
	一般寄附金の損金算入限度額((9)+(12))× 1/4	13	
特定公益増進法人等に対する寄附金の特別損金算入限度額	寄附金支出前所得金額の 6.25/100 相当額 (8)× 6.25/100	14	
	期末の資本金及び資本準備金の額の合計額の月数換算額の 3.75/1,000 相当額 (11)× 3.75/1,000	15	
	特定公益増進法人等に対する寄附金の特別損金算入限度額 ((14)+(15))× 1/2	16	
特定公益増進法人等に対する寄附金の損金算入額((2)と(14)又は(16))のうち少ない金額)		17	
指定寄附金等の金額 (1)		18	
国外関連者に対する寄附金額		19	
(4)の寄附金額のうち同上の寄附金以外の寄附金額 (4)-(19)		20	
損金不算入額	同上のうち損金の額に算入されない金額 (20)-((9)又は(13))-(17)-(18)	21	
	国外関連者に対する寄附金額 (19)	22	
	完全支配関係がある法人に対する寄附金額 (5)	23	
	計 (21)+(22)+(23)	24	

受験地				
受験番号				

評点

令和8年度 税理士試験
法人税法 ラストスパート模試

第2予想(答案用紙)

〈答案用紙〉

〔答案用紙ご利用時の注意〕

1. 実際の税理士試験では、この表紙はありません。答案用紙のみが配布されます。
2. 実際の税理士試験の答案用紙はA4サイズです。
3. 弊社ホームページでは、答案用紙のダウンロードサービスを行っています。
ネットスクールホームページ (<https://www.net-school.co.jp/>) にアクセスしてください。
4. 答案の採点は、模範解答をもとに各自で行ってください。

問1

(A社の仕訳)

借 方		貸 方	
項 目	金 額	項 目	金 額

(B社の仕訳)

借 方		貸 方	
項 目	金 額	項 目	金 額

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

問 2

設問 1

設問 2

受 験 地				
受 験 番 号				

評 点

(1)

税務上調整すべき金額 (加算・減算の別及び 留保・社外流出の別)	計 算 過 程
(Blank area for tax adjustment details)	(Blank area for calculation process)

受験地				
受験番号				

評 点

(2)

税務上調整すべき金額 (加算・減算の別及び 留保・社外流出の別)	計 算 過 程

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(3)

税務上調整すべき金額 (加算・減算の別及び 留保・社外流出の別)	計 算 過 程

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(3) (続き)

税務上調整すべき金額 (加算・減算の別及び 留保・社外流出の別)	計 算 過 程

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(4)

税務上調整すべき金額 (加算・減算の別及び 留保・社外流出の別)	計 算 過 程

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(4) (続き)

税務上調整すべき金額 (加算・減算の別及び 留保・社外流出の別)	計 算 過 程

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(5)

税務上調整すべき金額 (加算・減算の別及び 留保・社外流出の別)	計 算 過 程

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(6)

税務上調整すべき金額 (加算・減算の別及び 留保・社外流出の別)	計 算 過 程

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

令和8年度 税理士試験
法人税法 ラストスパート模試

第3予想(答案用紙)

〈答案用紙〉

〔答案用紙ご利用時の注意〕

1. 実際の税理士試験では、この表紙はありません。答案用紙のみが配布されます。
2. 実際の税理士試験の答案用紙はA4サイズです。
3. 弊社ホームページでは、答案用紙のダウンロードサービスを行っています。
ネットスクールホームページ (<https://www.net-school.co.jp/>) にアクセスしてください。
4. 答案の採点は、模範解答をもとに各自で行ってください。

(1)

税務上調整すべき金額 (加算・減算の別及び 留保・社外流出の別)	計 算 過 程

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(2)

税務上調整すべき金額 (加算・減算の別及び 留保・社外流出の別)	計 算 過 程

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(2) (続き)

税務上調整すべき金額 (加算・減算の別及び 留保・社外流出の別)	計 算 過 程

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(3)

税務上調整すべき金額 (加算・減算の別及び 留保・社外流出の別)	計 算 過 程

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(3) (続き)

税務上調整すべき金額 (加算・減算の別及び 留保・社外流出の別)	計 算 過 程

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(4)

税務上調整すべき金額 (加算・減算の別及び 留保・社外流出の別)	計 算 過 程

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(5)

税務上調整すべき金額 (加算・減算の別及び 留保・社外流出の別)	計 算 過 程

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(6)

試験研究費の特別控除額	計 算 過 程

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点

(6) (続き)

	計 算 過 程

受 験 地					
受 験 番 号					

評 点